

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 53
発行日 令和元年8月5日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:23種151点
鳥類:24種90点
爬虫類:10種77点
(令和元年7月末日現在)

すっきりしました

今年は5月に急に暑くなったと思ったら、6月7月と梅雨寒が続いていますが、季節は確実に移り変わっており、動物たちも冬毛から夏毛へと換毛しています。

冬毛と夏毛で色や模様がすっかり変わってしまうのはホンシュウシカ。くすんだ焦げ茶色から、オレンジがかった茶色の毛に木漏れ日を思わせる白い斑点模様へと変身しますが、どちらもその季節において森林では目立たない色合いです。

夢見ヶ崎動物公園にいる他の多くの動物たちの換毛は、ふわふわしたダウンコートが抜け、全体的にすっきりした印象になります。ホンドタヌキのげんまいはまさにその典型で、夏と冬では別の動物のようなシルエットです。

キツネザルたちは特に尾がスッキリ、細く見えます。レッサーパンダに至ってはみすぼらしく見えるほど尾が細くなります。

ヤギたちは木の柵や職員手作りの網に体をこすりつけ、抜け毛を自分で落とします。オスのヤギやマーコールは自分の角が届く範囲をわかっているようで、角の先端で背中を搔いていることもしばしばです。

色も体の大きさもあまり変わらないものの、顔周りで大きな変化があるのがロバで、冬毛の時だけ、立派な前髪が現れます。

冬の姿と比べてみると、ほかにもまだまだ発見があるかもしれませんね。



こしあん冬毛(左)と夏毛(右)



第19回 秋の動物園まつりについて

秋の動物園まつりについてお知らせです。

- ★日時：令和元年10月14日(月・祝) 午前10時～午後3時
- ★シマウマ餌やり体験(要整理券)、バックヤードツアー(要整理券)、動物リレーガイド、ヤギ餌やり体験、フラミンゴの休息、野鳥クイズコーナー、コンサートコーナー、竹細工コーナーなど
- ★天候、動物の体調等によって、一部内容が変更になる場合があります。
- ★当日動物園駐車場は利用できません。公共交通機関のご利用をお願いします。



*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。



★ピックアップ動物★

ロバ 哺乳綱 奇蹄目 ウマ科

古くから荷物の運搬などを目的に家畜化されてきました。現在飼育しているのは17歳の♀カグヤ1頭です。

ちょっと気難しい面があり、普段からよく接している飼育担当に対しても、グラウンドではあまり触られるのを嫌がります。しかし、いったん部屋に入ると「そういうものだ」と思うのか、あきらめてしまうのか、おとなしく触らせてくれるので、毎日蹄に入った土を掻き出す「裏掘り」や、調子が気になるときの診察などは部屋の中でスムーズに行えます。

触られるのは嫌でも、ブラッシングと耳掃除は大好きで、よほど気持ちがいいらしく、リラックスして唇が垂れ下がってきて何とも言えない表情になります。

ずっと淡白でありあまり主張をしない性格だったカグヤですが、最近は隣のヤギがはしゃぎながら遊んでもらっているのを見て自分も構えと寄ってきたり、乾草を一口くれと鳴いたり、ちょっとだけ主張するようになってきて、年齢とともに愛らしさが増してきております。



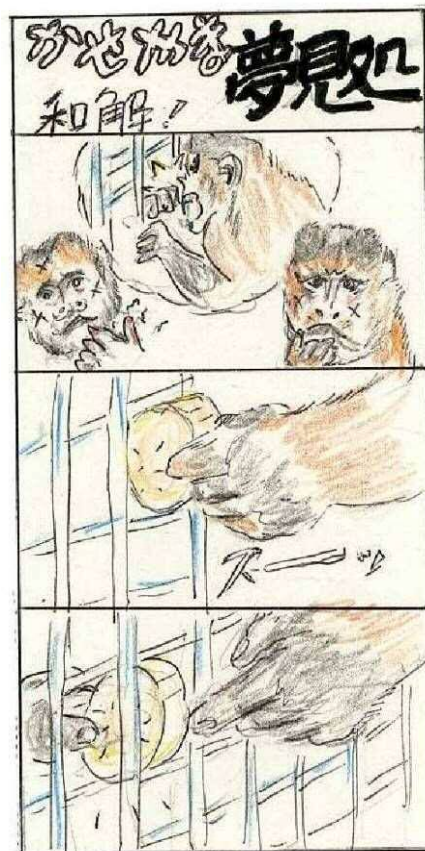
獣医の日記

動物の体調管理をするうえで、観察しなければならない点はいくつもあるのですが、もっとも手軽で、観察しやすいものの一つは便です。人間、特に日本では、赤ちゃんの時を除いてほとんどさっさと水に流してしまいがちですが、実にいろいろなことが分かります。

たとえばいつもより軟らかい便の時、感染症で下痢をしている場合もあれば、水分を多くとりすぎただけ、ストレスで胃腸の動きがおかしくなって食べ物を完全に消化できていない…などいろいろな原因が考えられます。便を薄く延ばして染色液で染めて顕微鏡で見たり、遠心分離器にかけたりして寄生虫の卵を探したりする検査などを行い、原因を突き止めて治療に入ります。また、コロコロした小さな便が数珠のようにつながっていることがあり、ほぐすと毛が絡まっていることがあります。換毛期に毛づくろいしてたくさんの毛を飲み込んだ結果です。便に粘液や血液が混じることもあります。

大事なのは、いつもと違うかどうか、です。便が軟らかいと言っても、キツネザルやレッサーパンダは正常でも未消化物の多い便を出し、クモザルやオマキザルはちょっと興奮するといつでもどこでも下痢便をします。においも人間は「くさい」で済ませがちですが、特に出血があったり微生物が増えすぎたりしたときは普段と違うにおいになるので、無視できません。

そんなわけで、仕事熱心な我々はごはんを食べながらでもうんこの話をしていることがしばしばです。



★動物たちの主な移動(令和元年5月1日～令和元年7月30日)★

マーコール(繁殖♂4♀4性別不明4、死亡♂2♀1)、ホンシュウジカ(繁殖♀3、死亡♀1)、ハイロコクジャク(繁殖2、死亡♂1性別不明1)、テンジクネズミ(繁殖20、死亡♂1♀4)、プレーリードッグ(繁殖3)、オオホンセイインコ(死亡♀1)、リスザル(繁殖・死亡♂1)、アライグマ(死亡♂1)、ベトナムキジ(死亡♂1)、アカミガメ(死亡♀1)